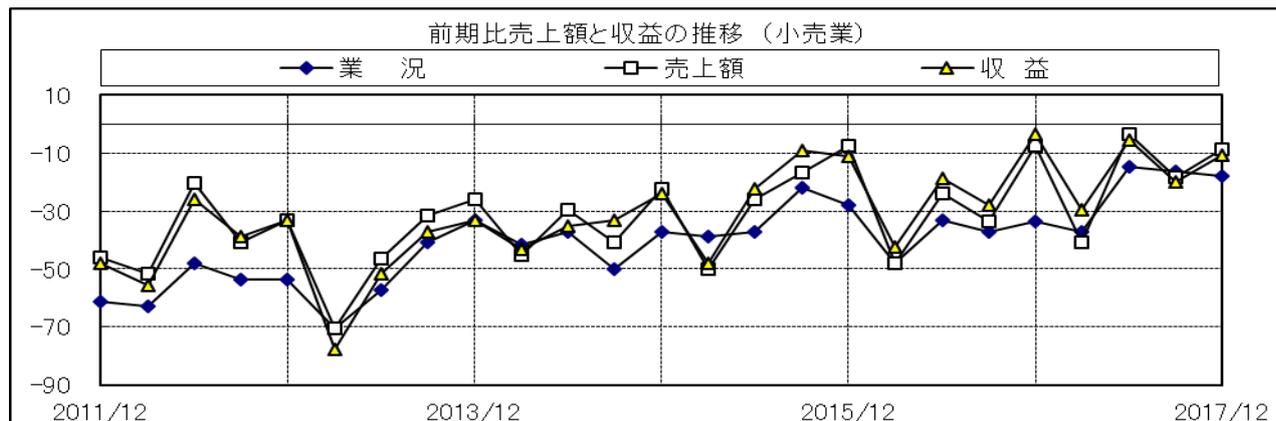


小売業 56企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績
業況	-14.7	-16.4	-17.9	-26.7
売上額	-3.7	-18.3	-8.9	-12.4
収益	-5.5	-20.1	-10.7	-17.8

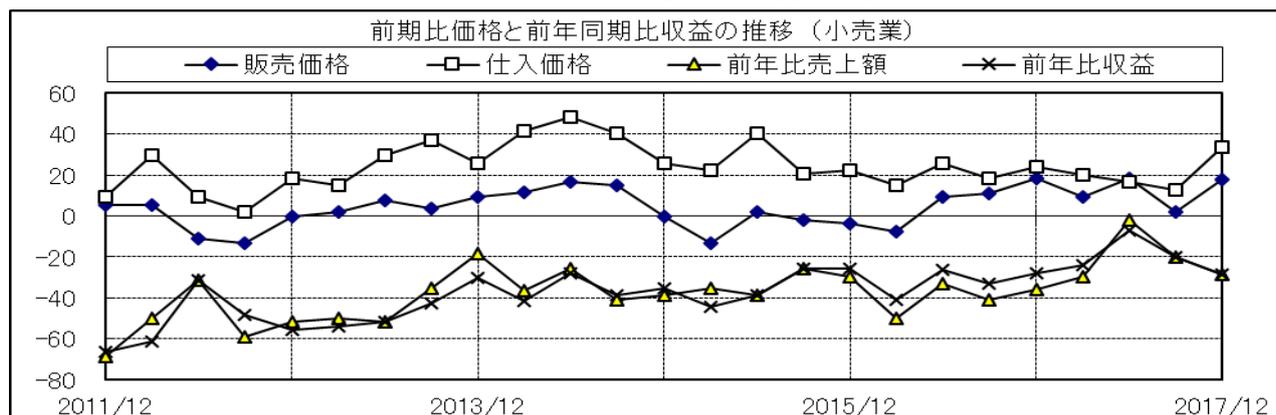
今期の業況判断 D. I. は△17.9 で、前期比 1.5 ポイント下降、前年(△33.4)比では 15.5 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内、広尾、類似、次にえりも、浦河と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△8.9 で、前期比 9.4 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△10.7 で、前期比 9.4 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	18.2	1.8	17.9	10.7
仕入価格	16.4	12.7	33.9	19.7

販売価格判断 D. I. は 17.9 で前期比 16.1 ポイント上昇、前年(18.5)比で 0.6 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 33.9 で前期比 21.2 ポイント上昇、前年(24.0)比も 9.9 ポイント上昇した。業種別では食料品・家電品は販売・仕入価格ともに上昇。衣料品は販売価格が下降、仕入価格は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-9.0	-9.2	-7.1	-10.7
人手状況	-25.5	-16.3	-21.4	-14.3

残業時間判断 D. I. は△7.1 で、前期比 2.1 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△21.4 で、前期比 5.1 ポイント下降、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

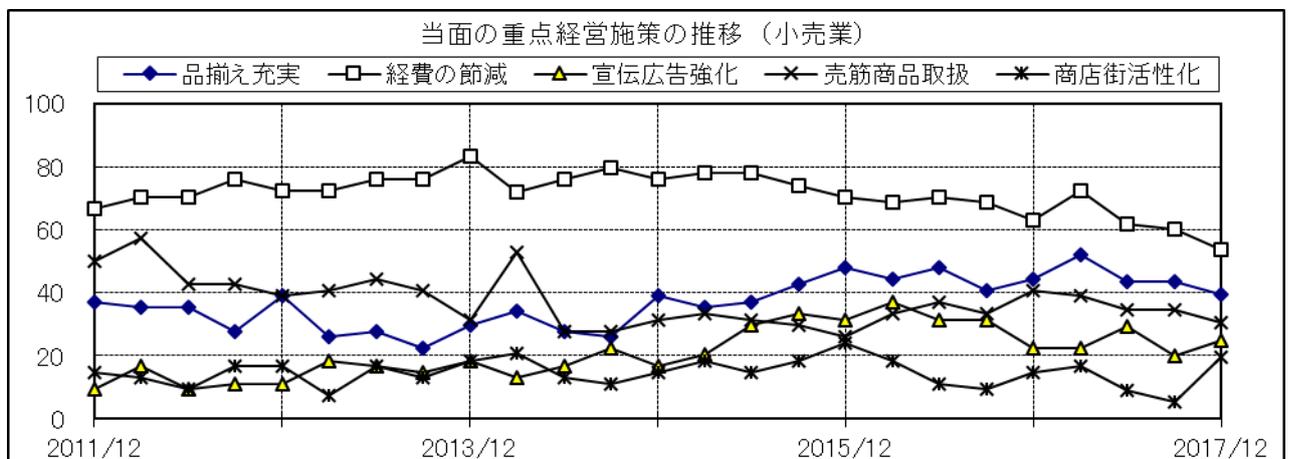
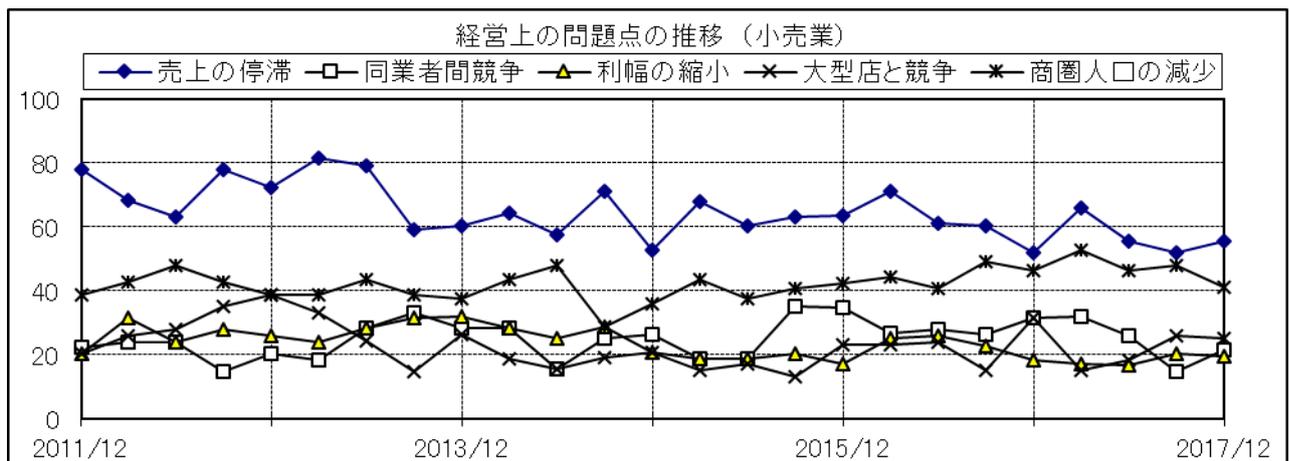
設備投資の充足感を示すD. I. は△14.3で、前期(△18.2)比で3.9ポイント上昇した。

設備実施企業割合は8.9%で、前期(9.1)比で0.2ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資の予定は1社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が55.4%と最も多く、「商圈人口減少」41.1%、「大型店との競争」25.0%、「同業者との競争」21.4%、「利幅縮小」・「商店街の集客力低下」が同率の19.6%、「値上り要請」14.3%、「人手不足」12.5%、「取引先減少」7.1%、「取扱商品の陳腐化」・「人件費増加」・「天候不順」・「地場産業衰退」が同率の5.4%と続いている。

重点経営施策では、「経費節減」が53.6%と最も多く、「品揃え改善」39.3%、「売れ筋商品取扱」30.4%、「宣伝広告強化」25.0%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△26.7と、今期比8.8ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△12.4と、今期比3.5ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△17.8と、今期比7.1ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は10.7と、今期比7.2ポイントの下降を見通している。

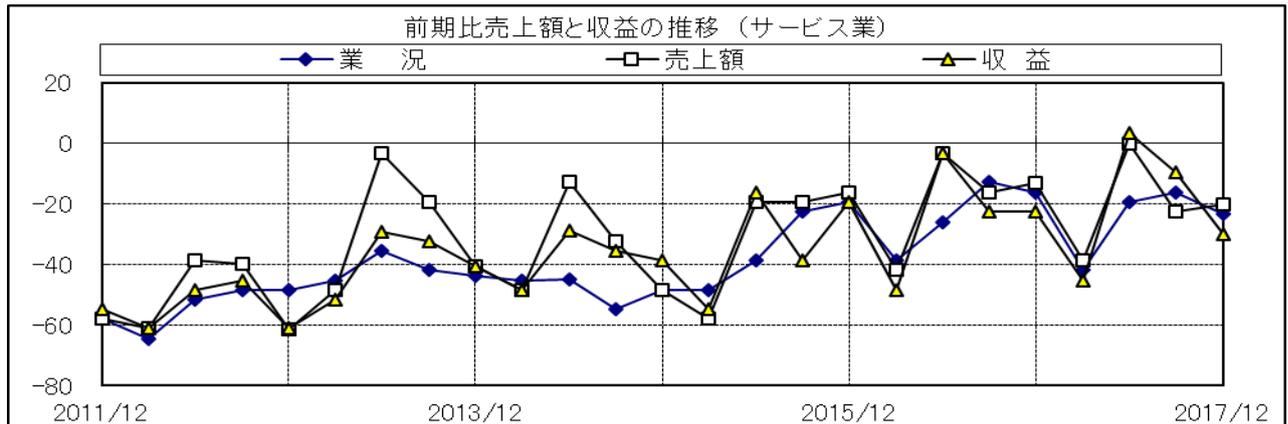
予想仕入価格判断D. I. は19.7と、今期比14.2ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-19.3	-16.2	-23.3	-33.4
売上額	-0.1	-22.6	-20.0	-23.3
収 益	3.3	-9.7	-30.0	-40.0

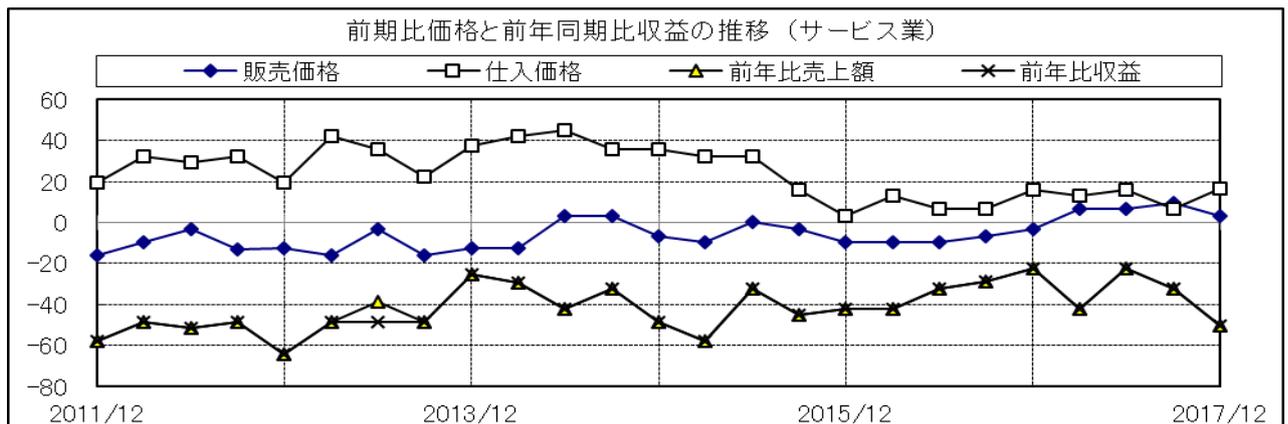
今期の業況判断 D. I. は△23.3 で、前期比 7.1 ポイント下降、前年(△16.2)比で 7.1 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、三石、静内、浦河・広尾が同率で続き、次にえりも、様似が最も低くなった。売上額判断 D. I. は△20.0 で、前期比 2.6 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△30.0 で、前期比 20.3 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
料金価格	6.5	9.7	3.3	0.0
材料価格	16.2	6.5	16.7	13.3

料金価格判断 D. I. は 3.3 で、前期比 6.4 ポイント下降、前年(△3.2)比では 6.5 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 16.7 で、前期比 10.2 ポイント上昇、前年(16.1)比で 0.6 ポイント上昇した。業種別にみると、旅館業で料金は横ばい、材料費が下降した。洗濯理美容業、自動車整備業は、料金、材料費ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	-12.9	-9.7	-10.0	-16.6
人手状況	-19.3	-19.3	-16.7	-13.3

残業時間判断 D. I. は△10.0 で、前期比 0.3 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△16.7 で、前期比 2.6 ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

□ 設備投資の動き

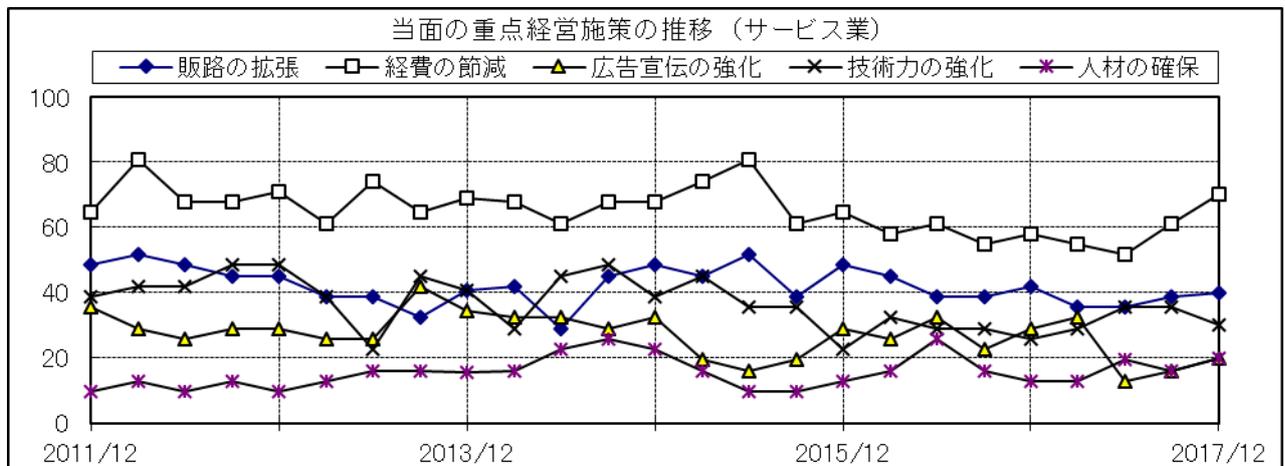
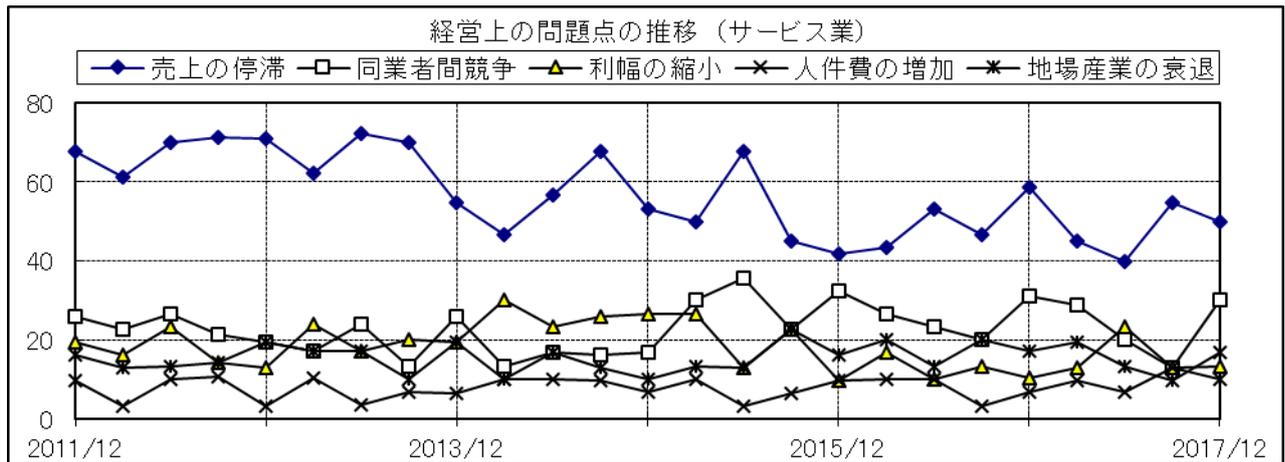
設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 3.4$ で、前期($\Delta 6.5$)比、3.1ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は10.0で、前期(9.7)比、0.3ポイント上昇した。設備投資は、前期3社の実施に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が50.0%と最も多く、「商圈人口減少」43.3%、「同業者競争」30.0%、「人手不足」・「地場産業衰退」16.7%、「利幅縮小」・「材料価格上昇」・「店舗設備老朽化」13.3%、「人件費増加」10.0%と続いている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.0%と最も多く、「販路拡大」40.0%、「技術力強化」30.0%、「宣伝広告強化」・「人材確保」が20.0%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 33.4$ と、今期比10.1ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 23.3$ と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 40.0$ と、今期比10.0ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は0.0と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は13.3と、今期比3.4ポイントの下降を見通している。